



日本証券業協会
Japan Securities Dealers Association



とう し
10/4は
証券投資の日

【外務員等資格試験制度に関するWG】 資格更新研修のオンライン化について

2022年6月1日
日本証券業協会

1. 経緯・基本方針



■ 経緯

近年、オンラインでの受験・受講が可能な資格試験、研修等が増えており、新型コロナウイルス感染症の影響もあって、現在、その対象はさらに広がっている。一方、外務員資格更新研修（以下、「資格更新研修」という。）については、従来より指定の試験会場で受講する方式としており、これまでに複数の協会員からオンライン化を望む声が寄せられている。

資格更新研修をオンラインで受講できるようになれば、受講者が会場へ移動する必要がなくなり、移動に伴うリスクの回避、時間や費用の削減等、協会員において多くのメリットが見込まれることから、今般、資格更新研修のオンライン化に向けた具体的な検討を開始することとした。

■ 基本方針

資格更新研修のオンライン化の検討に当たっては、初期費用の発生や運営費用の増加を極力抑えるため、資格更新研修の実施・運営に関する現在の委託先であるプロメトリック社へ引き続き委託することを前提とし、以下の点を基本方針として対応を進める。

- ・試験会場で受講する方式を廃止し、オンラインで受講する方式に一本化する
- ・外務員等資格試験と同レベルの厳格な本人確認及び監視は行わない
- ・上記の点以外（コンテンツ及び確認テストの内容、受講時間、修了条件等）については基本的に変更しない
- ・その他の課題については、本WGにおいて情報を共有したうえで、必要に応じて会合を開催し検討を行う

2. 主な変更点

オンライン化後の運用面での主な変更点は以下の通り。

	試験会場での受講（現行）	オンラインでの受講
受講場所	プロメトリック社の試験会場	（協会の社内、受講者の自宅等）
使用端末	プロメトリック社の端末	協会員または受講者の端末 （OS：Windowsのみ ブラウザ：Edge、Chrome ※ スマートフォン、タブレットは不可）
本人確認	会場係員による本人確認書類の目視確認	【案】 ・事前に受講者へ通知するキーコードによる確認 ・本人確認書類の画像認識による確認 など
監視	会場係員の目視による監視	【案】 なし
受講可能時間	事前に予約した日時（平日のみ）	【案】 ・事前に予約した日の任意の時間帯 ・事前に予約した日から一定の期間 など
予約者数・受講者数の制約	会場・時間帯ごとに、会場の許容人数まで	特になし

※ **【案】**と記載のある項目は、現時点で考え得る方式を例示したもの。各方式の実現可能性については検証する必要がある。

3. 本人確認及び監視（案）

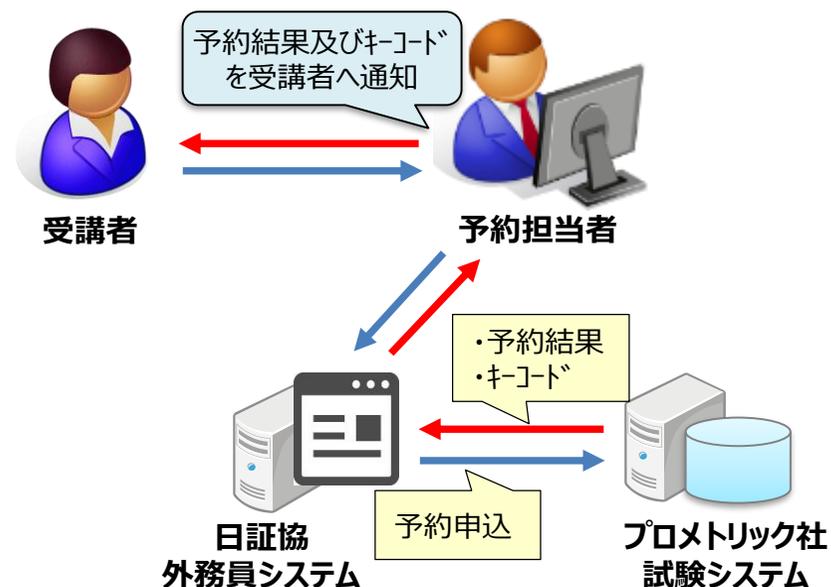
既に保有している資格の更新のための研修という性質に鑑みて、基本方針のとおり、資格試験と同レベルの厳格な本人確認及び監視は行わず、試験システム上での確認・監視は最小限に留めることとしたい。

■ 本人確認

研修開始時に、事前に受講者へ通知したキーコードが正しく入力されたことをもって本人確認とする。

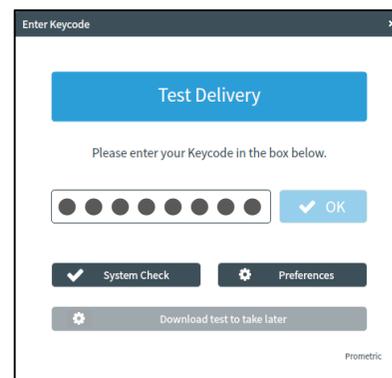
また、キーコードによる本人確認を行う場合、事前に受講者に対してキーコードを配布する必要がある。予約結果と併せて外務員登録・資格管理システム上に表示し、予約担当者を經由して受講者へ配布する方法などが考えられるが、その他の方法も含め、詳細については今後検討する。

～予約・キーコード配布の流れ～



～本人確認の流れ～

プロメトリック社の試験システム上の指定URLへ接続し、事前に通知されたキーコードを入力することで受講者を確認し、研修を開始する。



■ 受講中の監視

受講中の監視は特に行わず、研修内容に関わるものを含めた情報の持込みについては不正行為としないこととする。

4. スケジュール・費用

■スケジュール

現時点において、オンライン化の実現は2023年7月以降となる見込み（プロメトリック社との間で調整中）。
（プロメトリック社は試験システム老朽化のため、現在、新システムへの移行作業を実施中。オンライン化に係る作業は新システムへの移行（2023年1月中旬予定）後、6か月程度の期間を見込んでいる。）

作業項目	2022年							2023年							
	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	
新システムへの移行作業	→							移行★							
オンライン化に係る作業								→							オンライン化★

■費用

現状のプロメトリック社との協議においては、資格更新研修のオンライン化にあたって以下の項目等について新たに費用が発生するが、会場の使用に係る費用等オンライン化により削減される費用もあることから、トータルでは大幅な変動はない見込みとのこと。

今後、詳細な仕様を決定し、費用の見積りを行う。

- ・初期費用（外務員登録・資格管理システムとの連携、配信先の切替え、WEBサイト改修、配信データ作成等）
- ・運営費用（受講者電話サポート、配信手数料）

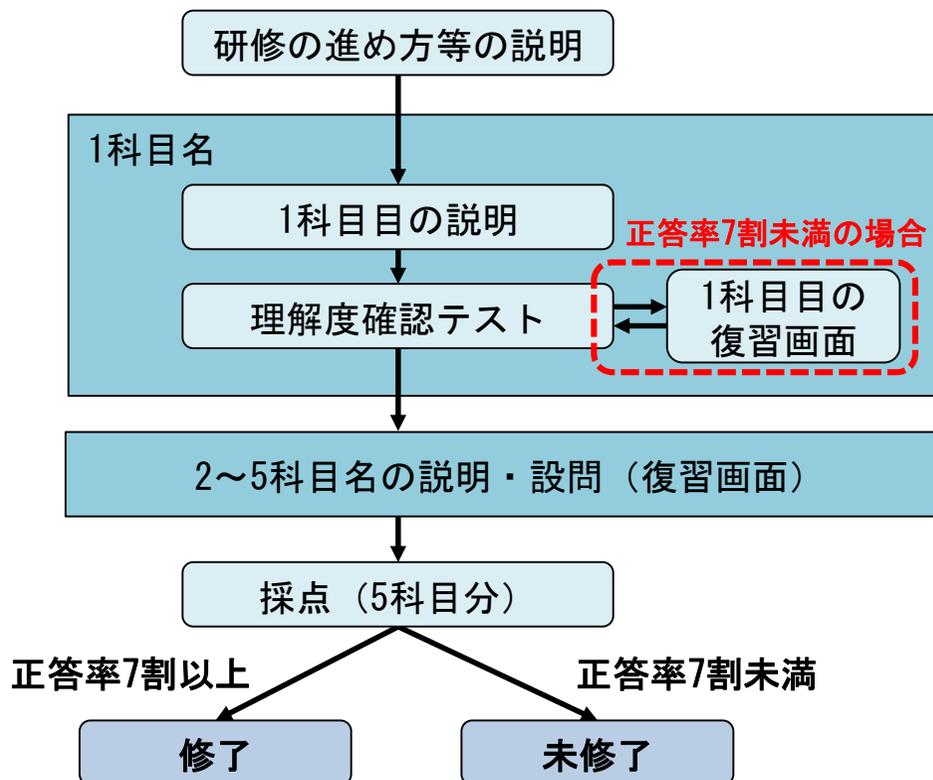
(参考) 試験システムの移行 (オンライン化に先行して2023年1月中旬予定) 後の主な変更点



プロメトリック社の試験システムの新システムへの移行 (オンライン化に先行して2023年1月中旬予定) 後は、当該システムの制約により、資格更新研修の流れが以下のように変更となるほか、画面レイアウトについて若干の変更がある。

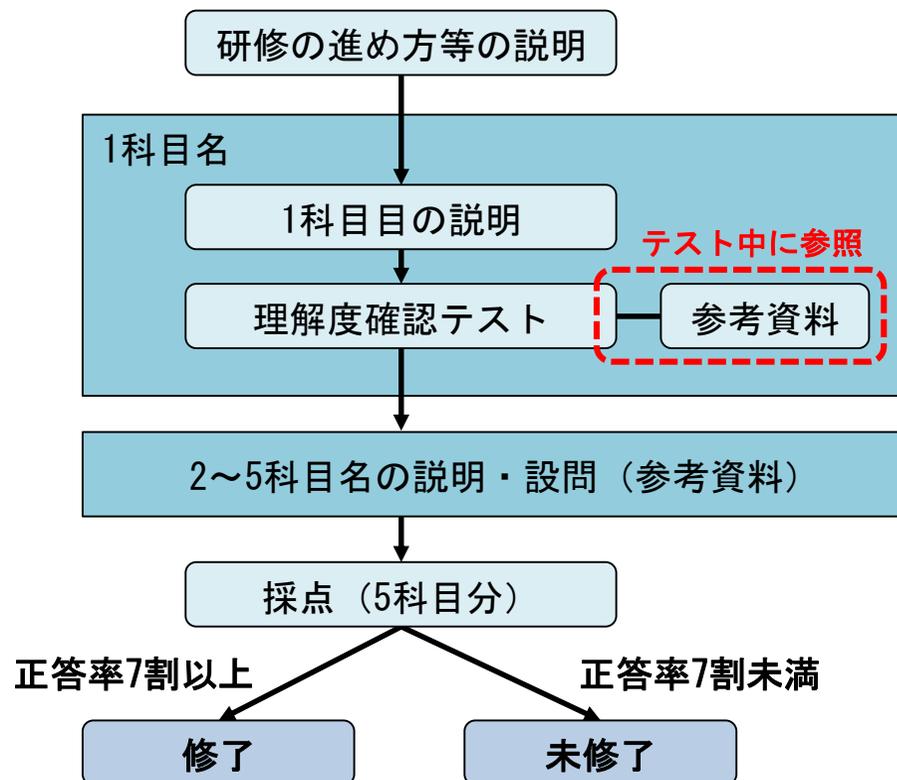
【現行システム】

各科目において理解度確認テストの正答率が7割未満の場合、**復習画面の閲覧及び理解度確認テストの再受験が可能。**



【新システム】

各科目における理解度確認手テストの正答率が7割未満の場合でも、**理解度確認テストの再受験は不可。**ただし、テスト中、**復習画面と同様の内容の「参考資料」の閲覧が可能。**



(参考) 試験システムの移行 (オンライン化に先行して 2023年1月中旬予定) 後の主な変更点

～画面イメージ～

【現行システム】

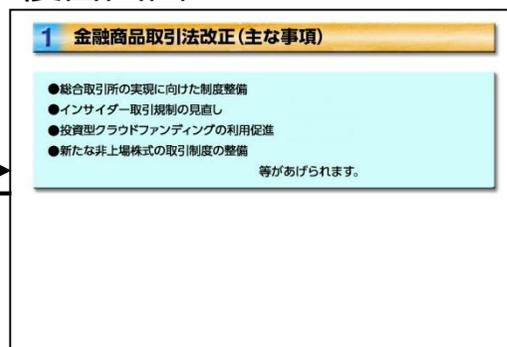


設問



次の科目へ

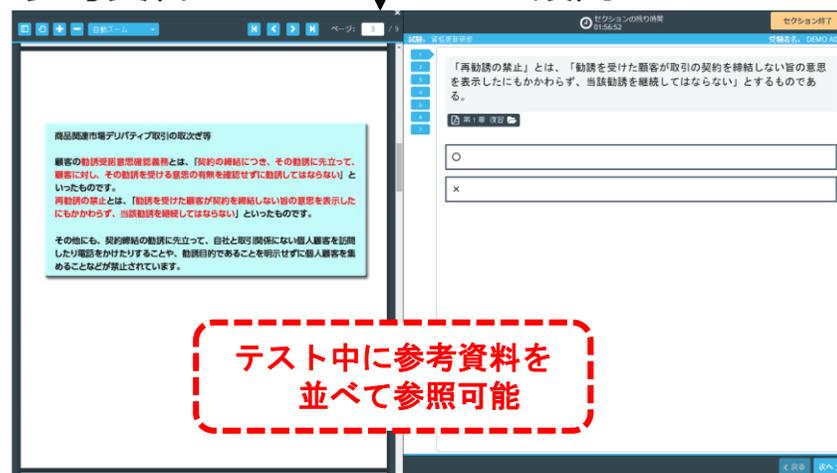
復習画面



【新システム】



参考資料



次の科目へ